

公共事業事前評価調書(平成26年度予算要望)

所管課:道路街路課 担当班:街路整備班

事業名	城間前田線(安波茶工区)街路整備事業		事業区分	街路事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	浦添市安波茶～前田					
事業の諸元	延長 L=1.5km 幅員 W=32m 【車道3.25m×4、(歩道+自転車道+植樹帯)6.0m×両側、中央分離帯2.0m、停車帯2.5m×両側】					
事業の概要	<p>城間前田線は、沖縄本島西海岸と東海岸を結び、国道58号、沖縄自動車道、国道329号の幹線道路を相互に連結する路線である。</p> <p>このうち、大平交差点付近から安波茶交差点を經由して浦添警察署前までの区間(L=1.5km)を4車線に拡幅整備するものである。</p> <p>現在、浦添警察署前から西原入口付近までの区間(L=約1.4km)については、モノレール関連事業として整備が進められている。</p>					
事業の必要性・効果等	<p><必要性等></p> <p>当該区間は、24,000台以上の日交通量があり、朝夕のラッシュ時は交通渋滞が慢性化している状況である。</p> <p>ハシゴ道路ネットワークの東西連絡道路として位置づけられており、さらに「沖縄地方渋滞対策推進協議会」において主要渋滞区間として、また、安波茶交差点は渋滞交差点として位置づけられている。</p> <p><効果等></p> <p>4車線の整備及び交差点の改良により円滑な交通が確保され、慢性化している渋滞が緩和される。さらに物流機能の強化、南北方向交通の分散が図られる。</p> <p>また、周辺には市役所、中学校、美術館、城跡等が立地しており、歩行者や自転車交通も多いことから、安全で快適な歩行空間の創出が図られる。</p>					
事業期間	事業採択	平成26年度	完了(予定)	平成35年度		
全体事業費	90億円	補助・単独の別	補助	補助率	9/10	
費用対効果	B/C = 2.5	総便益B	179億円	総費用C	73億円	規準年
		走行時間短縮便益	157億円	改築費	72億円	平成25年度
		走行経費現象便益	17億円	維持修繕費	1億円	
		交通事故減少便益	5億円			
事業着手の熟度・上位計画との整合性	<p>本路線は、沖縄21世紀ビジョン基本計画で本島東西間を結ぶ道路(ハシゴ道路)の整備推進が記述されており、また、沖縄県総合交通体系基本計画及び沖縄県緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけられている重要な路線である。</p> <p>浦添市においては、浦添市都市計画マスタープランで重点的に整備を促進する道路として位置づけている。</p> <p>本事業区間は、平成25年12月に都市計画決定済みである。</p>					
環境への配慮	<p>ゆとりある歩行空間を確保し、歩道植栽により緑陰を形成し、歩行者及び周辺の生活環境へ配慮する。</p> <p>また、車道においては低騒音舗装を施し騒音の低減を図る。</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>浦添市においては、浦添市都市計画マスタープランで重点的に整備を促進する道路として位置づけている。</p>					
概要図(位置図)						